

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川まつり地域協賛事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	03商業・観光を振興する
施策	02観光を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成16年度から市の主催事業から協賛事業に変更し、各地域の独自性を活かした事業が開催されているが、役員の高齢化や短期間での交代により、事業の継承が困難となってきた。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	各地域の自主性・独自性を活かしたまつりを開催することにより、地域住民の連帯とふるさと意識の高揚を図ることを目的とする。
対象 ※誰、何に対して	町内会連合会単位で形成する「おまつり広場実行委員会」（合同開催も可）及びハモリ i n g & ゆずっこコンテスト実行委員会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各実行委員会に補助金として支払い、おまつり広場等の運営補助を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	07 商工費
項	01 商工費
目	03 観光費
細目	010 加古川まつり事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	8,911千円	9,136千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、すべての事業が中止となったが、地域住民の連帯とふるさと意識の高揚を図る事業の開催を支援することを目的に実施されており、市の関与は妥当であると考えられる。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川まつり地域協賛事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口（10/1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川まつり地域協賛会場数	会場	16	16	0
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、加古川まつり協賛事業についてはすべて中止となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
加古川まつり地域協賛事業参加者数	人	58,900	53,100	0	令和元年度	76,000
成果指標分析結果	加古川まつり協賛事業が中止となったことから、参加者も0となった。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川観光協会運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	03商業・観光を振興する
施策	02観光を振興する
事業実施期間	平成17年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川観光協会の運営負担金として、加古川市と加古川商工会議所から負担金を交付している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川の魅力を高め、観光によるまちづくりに貢献し、多くの人々が訪れるにぎわいのあるまちを創出することを目的とする。
対象 ※誰、何に対して	加古川観光協会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	観光事業を展開している加古川観光協会に対して負担金を交付する。

【コスト】

		令和2年度（決算見込）
事業費合計		2,500 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,500 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	07 商工費
項	01 商工費
目	03 観光費
細目	005 観光行政に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	協会が実施する事業については一定の成果を得ており、当事業は妥当なものとする。今後も、さらなる観光PRや収益事業の強化が必要である。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川観光協会運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川観光協会	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川観光協会	団体	1	1	1
活動指標分析結果	妥当であると考えられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
観光客入込数（兵庫県観光客動態調査：観光客17地点）	名	2,313,727	2,204,507	1,335,516	令和6年度	2,464,000
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少していると考えられる。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川菊花展等運営補助事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	03商業・観光を振興する
施策	02観光を振興する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成19年度から加古川菊花展等運営事業補助金として、「加薫会」及び「加古川ばら会」に補助している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ばら及び菊作りを通じて、美しい自然と明るい郷土を創造するとともに、市民の豊かな心を養うことを目的とするが、同時に市内外から集客を見込める展覧会としたい。
対象 ※誰、何に対して	加薫会及び加古川ばら会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	菊花展、ばら展をそれぞれ主催している「加薫会」及び「加古川ばら会」に加古川菊花展等運営補助金を交付している。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	1,400 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,400 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	07 商工費
項	01 商工費
目	03 観光費
細目	005 観光行政に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	1,525 千円	1,548 千円	1,400 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ばら展が中止となったが、菊花展及びばら展ともに出展者数が減少傾向であるため、出展者数の増を補助対象団体に呼びかける。また、より多くの来場者を呼び込むためにはPR方法にも工夫が必要である。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川菊花展等運営補助事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加薫会	団体	1	1	1
加古川ばら会	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川菊花展開催数	回	1	1	1
加古川ばら展開催数	回	1	1	0
活動指標分析結果	<p>開催数については、花の見頃等が影響するので妥当なものと考えられる。令和2年度に開催予定であった第63回加古川ばら展については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。</p>			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
菊花展来場者数	名	2,000	2,000	2,000	令和元年度	2,000
ばら展来場者数	名	1,670	2,517	0	令和元年度	2,000
成果指標分析結果	<p>令和2年度開催予定であった第63回加古川ばら展については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。菊花展については一定の参加者数を確保しており、妥当なものと考えられる。</p>					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	飲食店等テイクアウト販売支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	03商業・観光を振興する
施策	02観光を振興する
事業実施期間	令和2年度～令和2年度
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	緊急事態宣言の再発令など厳しい状態が続いているが、飲食店のテイクアウトへの取組みと市民への浸透という意味では一定の役割を終えたと思われる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民に対象飲食店の利用を促進することで、市内飲食店のテイクアウト販売を直接的に増加させるだけではなく、再度の利用につなげるなどPR効果も意図した。
対象 ※誰、何に対して	市内事業者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	①市民会館テイクアウト事業市民会館大ホールホワイエにブースを設置し、希望のあった市内飲食店にテイクアウト販売の場所を提供した。②クーポン券配布事業テイクアウト販売を行っている飲食店で利用可能なクーポンを作成し、市内全戸に配布した。

【コスト】

		令和2年度（決算見込）
事業費合計		18,351千円
財源内訳	国庫支出金	14,680千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,671千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	07 商工費
項	01 商工費
目	03 観光費
細目	055 観光まちづくり推進事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	0千円	0千円	18,351千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	飲食店等テイクアウト販売支援事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用店舗数	店	0	0	143

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
クーポン配布枚数	枚	0	0	108,819
活動指標分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
クーポン利用枚数	枚	0	0	28,741		0
クーポン換金額（千円）	千円	0	0	14,371		0
成果指標分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	加古川まつり開催事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	03商業・観光を振興する
施策	02観光を振興する
事業実施期間	昭和47年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	少子高齢化が進み地域の人口が減少する中、地域住民の連帯とふるさと意識の高揚が課題となっている。また、花火大会の開催にあたり、安全対策費や環境整備費が年々増加しており、費用面においても課題がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民総ぐるみで夏の風物詩を楽しみ、地域住民の連帯とふるさと意識の高揚を図るとともに、本市への誘客を促進し、にぎわいのあるまちを創出することを目的とする。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	毎年8月第1日曜日に花火大会を開催し、前日の土曜日などを中心に各地域で「おまつり広場」等のイベントを開催している。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	208千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	208千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	07 商工費
項	01 商工費
目	03 観光費
細目	010 加古川まつり事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	76,006千円	76,105千円	208千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和2年度は花火大会及び協賛事業ともに中止となったが、次年度以降開催する場合、新型コロナウイルス感染症の予防対策等が課題となる。加えて花火大会のメインの観覧場所に架かる市道神吉中津線の架橋工事が実施されているため、警備計画を見直す必要がある。市民にとって夏の風物詩として定着しているが、事業の抜本的な見直しが必要である。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川まつり開催事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口（10/1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川まつり行事数	件	20	19	0
活動指標分析結果	当初、開催予定であった東京オリンピック・パラリンピックの影響により警察官が不足することから、令和2年度の花火大会を中止とした。また、加古川まつり協賛事業についても新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
加古川まつり参加者数	名	155,600	150,000	0	令和元年度	200,000
成果指標分析結果	加古川まつり花火大会や加古川まつり協賛事業が中止となったことから、参加者数も0となった。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	観光まちづくり推進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	03商業・観光を振興する
施策	02観光を振興する
事業実施期間	平成28年度～永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	人口減少による交流人口増加の必要から、観光振興に対する期待は高まっている。令和2年3月に新たな5ヵ年計画である第2次戦略を策定し、さらなる観光振興に取り組む。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により観光業界は大きな影響を受けている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市の観光情報を発信し、市民には市の魅力再発見を促し、市外在住者には加古川市への来訪意欲を高める。
対象 ※誰、何に対して	加古川市民及び市外在住者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	第2次加古川市観光まちづくり戦略に基づき事業を実施する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	1,610千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,610千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	07 商工費
項	01 商工費
目	03 観光費
細目	055 観光まちづくり推進事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	8,522千円	15,326千円	1,610千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	加古川市観光まちづくり戦略に記載の事業を順調に実施しているが、個々の事業においては成果向上の余地が考えられる。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	観光まちづくり推進事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	263,797	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
戦略に基づく事業実施数	件	10	4	8
活動指標分析結果	観光まちづくり戦略記載の事業を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
観光客入込客数	名	2,313,727	2,204,507	1,335,516	令和6年度	2,464,000
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により入込客数が減少している。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	まち案内所管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【基本情報】

基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	03商業・観光を振興する
施策	02観光を振興する
事業実施期間	平成17年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	市民ギャラリーの利用について、平成29年6月にカピル21ビル3階からJR加古川駅構内に移転したことにより利用者が増加した。現在は新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、状況を注視しながら、終息後には利用数の回復に努めていく。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	展示スペースの維持管理並びに設備面の充実を行うことでサービスの向上を図り、不具合なく快適に利用してもらい、利用効率性を高める。
対象 ※誰、何に対して	加古川駅構内のまち案内所兼市民ギャラリー、利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川観光協会へ委託により管理運営を行う。●観光案内業務●ギャラリー利用者からの利用料収納業務●設備及び備品等の管理

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	1,749千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,749千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	07 商工費
項	01 商工費
目	03 観光費
細目	005 観光行政に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	1,950千円	1,926千円	1,749千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民ギャラリーについて、移転や利用促進のPR、自主企画展示の実施により、利用が増加した。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	まち案内所管理運営事業	部局名	産業経済部
		課(室)名	観光振興課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
まち案内所入場者数	人	59,535	63,210	41,803
ギャラリー展示回数	回	62	42	27
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大により、まち案内所の入場者数・ギャラリー展示回数ともに大幅に減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
まち案内所におけるまち案内件数	件	6,749	9,291	3,779	令和2年度	9,500
市民ギャラリー入館者数	人	18,006	16,179	9,581	令和2年度	160,000
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大により、案内件数・市民ギャラリー入館者数ともに大幅に減少した。					